

調書1 補助金等調査表（チェックシート）

所属                      市民スポーツ課

(1) 補助金の内容

名 称	全国大会・関東大会等出場補助金		
交付開始年度	平成15年度	終了予定年度	
交付先	浦安市社会教育関係団体		
交付の目的・必要性	全国・関東大会に選手を派遣する各競技団体または選手個人の費用負担を軽減させるとともに、社会体育の振興及び競技力の向上を図るため。		
対象事業の内容	浦安市社会教育関係団体に所属する個人またはチームで、市内在住・在勤・在学者の全国・関東大会参加に伴う交通費及び宿泊費の補助。		
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助 <input type="checkbox"/> 混合補助    ⇒    割合が大きいのは <input type="checkbox"/> 事業補助 <input type="checkbox"/> 運営補助		
直近の見直し状況	見直した時期		
	内容		
交付申請	受領書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書 <input checked="" type="checkbox"/> その他（旅費計算書、開催要項等）	
	確認内容	所費計算書により交通費、宿泊費の確認 開催要項等で補助対象の大会か確認	
実績報告	受領書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書 <input checked="" type="checkbox"/> その他（成績書、旅費決算書等）	
	確認内容	旅費決算書にて支出額の確認 実績報告書等で大会での成績を確認	

# 補助金等調査表（チェックシート）

## （２）補助金見直しの基本視点に基づく評価

（※具体的な根拠指標には、設問に対する評価根拠となる、成果等を示す数値的な指標を記載すること）

公益性	補助事業が、客観的に見て、より広く市民等に利益をもたらす、または還元されている。	評価 特定の個人又は集団に利益をもたらす	評価の理由・具体的な根拠指標 全国・関東大会参加に伴う費用の一部を補助するものだが、社会教育関係団体に登録されている団体に所属していることが要件となるため。
	補助事業の目的が、時代や社会情勢に合っている。	評価 ほとんど合っている	評価の理由・具体的な根拠指標 競技力の向上を通して生涯にわたり健康を維持していくことが、健康寿命の延伸や生きがいづくりに寄与するため。
必要性	補助金を交付する形で、市が関与する妥当性がある。	評価 ある	「ある」→妥当性について記入。 「ない」→妥当性がないにも関わらず補助する理由を記入。 事業内容が、浦安市生涯スポーツ推進計画における「多様なニーズに応じたスポーツ機会の提供」に該当し、計画の推進において有効な手段となることから、市が関与するのは妥当である。
	補助金がない場合、団体等は自主財源で事業を行うことができない。	評価 できる	「できる」→自主財源で事業実施可能にも関わらず補助する理由を記入。 「できない」→補助金がなければ事業を実施できない理由・具体的な根拠を記入 大会によっては経費が高額で選手の負担が大きいことから、自主財源のみでは大会参加に支障をきたす可能性がある。
	市民ニーズが高いものである。	評価 やや高い	評価の理由・具体的な根拠指標 例年、複数の対象団体または個人から申請を受けているため、ニーズはやや高いと考える。
	市民ニーズに即している。	評価 やや即している	評価の理由・具体的な根拠指標 例年、複数の対象団体または個人から申請を受けているため、一定のニーズに即していると考ええる。
	補助金の意義について、的確に説明できる。	評価 できる	「できる」→誰に対しどのような効果があるか等について記入。 「できない」→説明できない理由について記入。 当該事業の活動は、浦安市生涯スポーツ推進計画における「多様なニーズに応じたスポーツ機会の提供」に該当し、生涯スポーツ健康都市として誰もがスポーツを楽しめる環境を提供するために有効であるため。
	補助期限（終期）を設定している。	評価 未設定	「設定済」→設定年度とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。 市民が全国・関東レベルの大会参加に要する費用の一部を補助をすることに対し、終期の設定は適さないため、継続的に補助をしていきたい。
	補助金申請に係る積算根拠が明確である。	評価 はい	「はい」→積算根拠を何で確認しているかを記入。 「いいえ」→積算根拠が不明確である理由と今後の見通しを記入。 旅費計算書や大会開催要項等を確認している。

## 補助金等調査表（チェックシート）

施策との整合性	当該補助金は、市の政策目的や施策と整合している。	評価	「している」→どのような点で整合しているのか記入。 「していない」→整合していないにも関わらず補助する理由を記入。
		している	当該団体の活動が、浦安市生涯スポーツ推進計画における「多様なニーズに応じたスポーツ機会の提供」に寄与している。
施策との整合性	補助事業が本市の特性を生かした取り組みである。	評価	「はい」→どのような点で特性を生かしているのか記入。
		はい	本市は充実したスポーツ施設を有し、交付対象となる団体はこれらの施設で活動しているため。
公平性	事業を実施できる団体が他にない。（複数存在する場合、当該補助金はその事業者だけに交付される合理的な理由がある。）	評価	「はい」を選んだ理由
		はい	交付にあたり、社会教育関係団体に認定されている団体に所属していることを要件としているため。
		「いいえ」の場合、補助金はその事業者だけに交付される合理的理由を記入。	
公平性	補助対象経費に対して、補助事業者等にも応分の負担を求めるべき事業には、一定の適切な補助率や限度額が設定されている。	評価	「設定済」→補助率とその根拠を記入。 「未設定」→設定しない理由と今後の見通しを記入。
		設定済	18歳未満：補助対象額の3分の2 18歳以上：補助対象額の3分の1
効率性	補助目的に見合った成果や、施策実現に向けた効果がある。	効果の測定方法・具体的な根拠指標	
		申請実績	
	評価	評価理由	
	十分効果をあげている	大会会場や日程により参加費用が高額となるケースもあるなか、補助金を交付することで選手の費用負担を軽減できていることに加え、浦安市生涯スポーツ推進計画における「競技力向上のための体制整備」にもつながっているため。	
		評価の理由・具体的な根拠指標	
手法として、委託等の手法よりも、補助金を交付することがより合理的である。	はい	大会出場にかかる経費の一部を負担するため、補助金としての支出が合理的である。	
効率性	国や県、本市において同様の補助事業がない。（※国県要綱に対し、上乘せ・横出しする補助事業は除く）	評価	「ある」の場合、同様な補助事業と両方存続させる理由を記入。
		ない	
補助対象経費の明確化	補助金対象内外経費が明らかになっているか。	評価	「はい」→何で確認をしているか記入。 「いいえ」→明確にしていない理由を記入。
		はい	旅費決算書、領収書等
	補助対象外経費を補助対象としていない。（対象としている場合は、明確な根拠を持っている。）	評価	「対象としている」の場合、費目及びその根拠規定と対象となる考え方を記入。（※費目とは、飲食費や慶弔費など）
	対象としていない		

# 補助金等調査表（チェックシート）

※以下の項目は、団体補助金のみ記述。

団体補助金	団体の設置および活動目的が、補助事業からみて整合しているか。また、団体としての活動実態があるか。	評価	評価の理由
		はい	交付対象となる個人または団体は、体力増進や健全な精神を養うことを目的として活動しており、活動内容についても補助事業の目的に適合している。
	補助事業の内容と成果について、交付団体においても対外的に情報公開を実施しているか。	評価	「はい」→情報公開の手法等について具体的に記入。 「いいえ」→実施できない理由と今後の見通しを記入。
		はい	各団体のホームページ上で公開している。（ホームページを開設している団体に限る）
	団体内で、補助金の使途や決算などの監査機能が有効に機能していて、透明性等をもって運営されているか。	評価	「はい」→どのような監査手法で実施しているか記入。 「いいえ」→機能していない理由と今後の見通しを記入。
		はい	各団体で監事を設置し、決算の際に監査を実施している。（団体に限る）
補助金交付団体の自立性を促すことなどから、運営補助から事業補助へ移行を図っているか。	評価	「運営補助」の場合、事業補助に移行できない理由と今後の見通しを記入。 ※混合補助で実施している場合は、割合が大きい方を選択してください。	
	事業補助		
市職員が補助金交付団体の事務を行っているか。（行っている場合は合理的な理由があるか。）	評価	「行っている」の場合、合理的な理由を記入。	
	行っていない		
繰越金		評価	具体的な根拠指標
	交付団体の補助事業会計において、補助金額以上の繰越金を計上している。 （※複数団体ある場合は、各団体を一覧化したものを別紙にて提出のこと）	いいえ	直近決算額における補助金額 _____ 円 繰越金額 _____ 円 { うち補助事業会計分 _____ 円 うち団体独自会計分 _____ 円
			繰越金額が生じた具体的な原因について記入。
上記設問において、「はい」の場合、補助金の減額ないし、休止などの必要な対策を考えている。	評価	「はい」→具体的な対応策について記入。 「いいえ」→対応できない理由について記入。	

# 補助金等調査表（チェックシート）

## （3） 国県要綱・近隣市補助金との比較を通じた評価

同様の趣旨で補助を行っている近隣市については、補助金額に上限を定めているケースが多い。

## （4） 補助金の課題

補助金額に上限が設定されていないため、補助金額の上限設定の検討が必要であるとする。

## （5） 所属長の総合評価

大会会場や日程により参加費用が高額となるケースもあるなか、補助金を交付することで選手の負担軽減を図ることができている。また、スポーツを通じた市民の活躍が本市の魅力向上や情報発信に寄与することを踏まえ、継続的に支援していきたい。補助金については、社会教育関係団体活動補助金の一部として交付しているところである。社会教育関係団体補助金が全体として令和8年度に見直しとなることから、補助上限額の設定について併せて検討していく。

## （6） 補助金の今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま継続
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しをしたうえで継続
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> その他

その他の内容

現行継続の理由	
---------	--

見直しの時期	令和8年度
見直しの内容	補助上限額の設定に係る検討

廃止の時期	
廃止の理由	